

平成17年3月7日  
原子力安全対策課  
(16-123)  
<20時45分記者発表>

## 大飯発電所3号機の原子炉手動停止について (原子炉格納容器内での水溜りの発見)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

大飯発電所3号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力118.0万kW)は、定格熱出力一定運転中のところ、本日3月7日15時50分頃、定例の原子炉格納容器内点検(1回/月)において、格納容器冷却材ドレンタンク室内に水溜りのあることを運転員が確認した。また、水溜り上部の換気空調用ダクトに水滴の付着が認められることから、当該室の上部より水が滴下しているものと推定された。

原子炉格納容器サンプル水の水位上昇率が4号機と比べて若干高く推移している(3号機:約2ℓ/時、4号機:約1ℓ/時)以外に、プラントパラメータや格納容器内の放射線モニタ等に異常は認められていない。

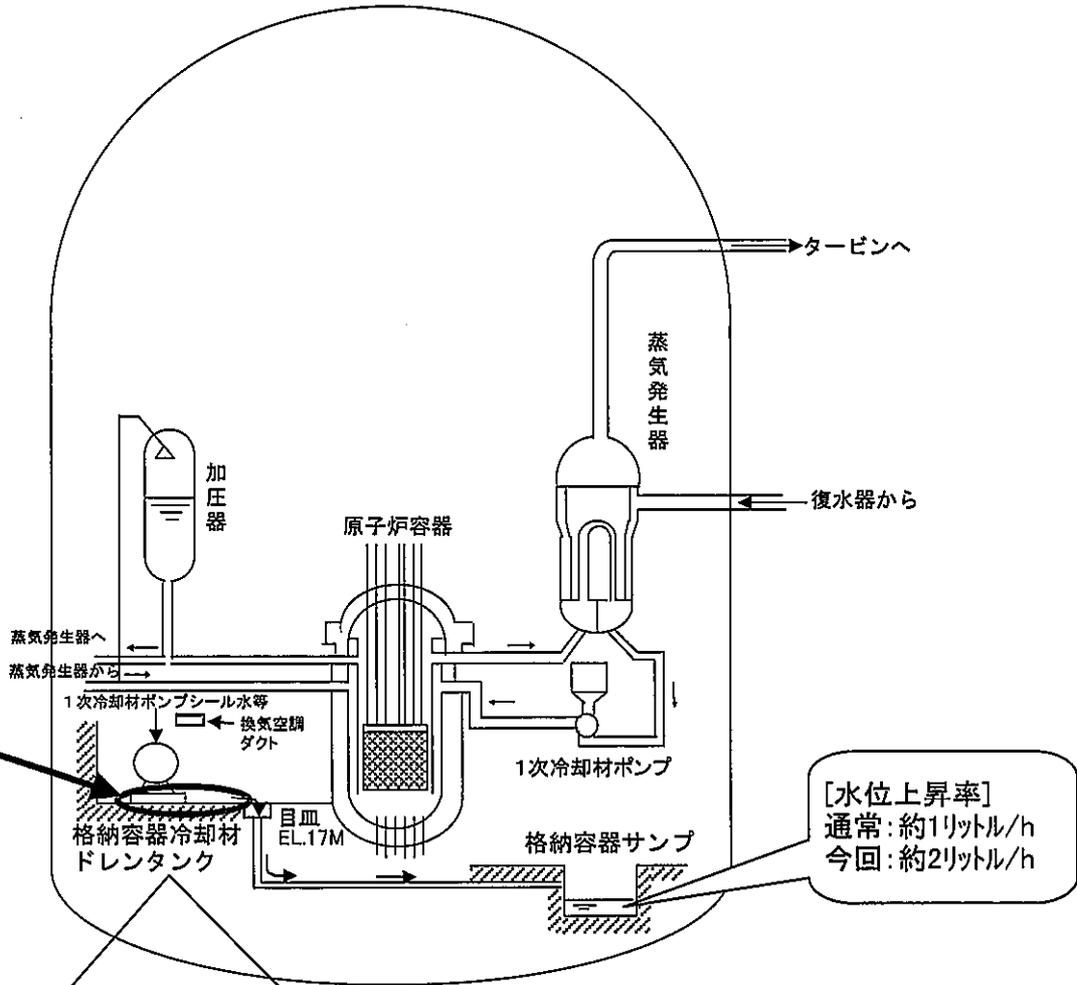
水溜りの水分析の結果、1次冷却水の漏えいの可能性が確認されたことから、漏えい箇所の特定制や詳細な点検調査を行うため、本日21時30分頃より負荷降下を開始し、明日8日4時頃、発電を停止する予定である。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

# 大飯発電所3号機 原子炉格納容器内での水溜りの発見について

発見箇所

原子炉格納容器



水溜り  
発見箇所

格納容器冷却材ドレンタンク室

